

## 令和5年度 大阪府立羽曳野支援学校 第1回 学校運営協議会

開催日時	令和5年7月4日（火） 15:00～16:30
開催場所	本校 図書室
出席者	井上委員、亀田委員、中條委員、平賀委員、前田委員
出席者	東野校長、岩田教頭、井川教頭、川野事務長、 岡田首席、松山首席、和田首席
傍聴者	なし
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校運営協議会次第</li> <li>・ 学校運営協議会実施要項</li> <li>・ 学校運営協議会委員、事務局（名簿）</li> <li>・ 令和5年度 学校経営計画及び学校評価</li> <li>・ 令和6年度使用教科用図書選定理由書</li> <li>・ 羽曳野支援学校パンフレット</li> </ul>
備考	

<b>議事等（次第順）</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1  学校長挨拶</li> <li>2  学校運営協議会委員の委嘱、事務局員の紹介</li> <li>3  令和5年度羽曳野支援学校運営協議会 会長、副会長の確認</li> <li>4  <b>【協議】</b> 令和5年度「学校経営計画」を踏まえた学校運営の充実について</li> <li>5  <b>【連絡報告事項】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教科用図書採択について</li> <li>②学校紹介（本校、訪問、各分教室）</li> </ol> </li> <li>6  意見交換</li> <li>7  閉会の挨拶</li> </ol>
<b>協議内容・連絡報告事項等</b>
<p><b>【協議】</b> 令和5年度「学校経営計画」を踏まえた学校運営の充実について (校長)</p> <p>昨年度の第3回学校運営協議会で承認をいただいているので中身について変更はない。 本校の現状として、在籍者数に波がある。そのため本校が教員をリソースとして活用するこ</p>

とができると考えている。今後プロジェクトチームを立ち上げて進めていきたい。

入院しているが本校に在籍していない児童生徒に対して何ができるかという視点において、1つは発達障害に起因している不登校の児童生徒へのアプローチについて、2つめはオンラインの取り組みを市町村がうまく活用できるようなノウハウの提供や、退院後すぐに登校できない児童生徒に対してのアプローチについて。これら2点について今後検討を進めていきたい。

#### 【連絡報告事項等】

##### ①教科用図書採択について

(教頭)

選定理由書に沿って、選定経過の概要の報告

##### ②学校紹介（本校、訪問、各分教室）

(首席)

PPを活用して本校、訪問、分教室それぞれの特色や様子を報告

#### 【意見交換】

Q キャリア教育の充実に向けて昨年よりもさらに何か新しい取り組みを考えておられるなら教えてほしい。

A 今年度できるかどうかは未定であるが、病気の児童生徒も職業体験の必要性は感じており、バーチャルでの体験ができればと考える。新しい技術を使って何かできるよう考えていきたい。

Q 病弱の高校生に対しては、授業のオンラインでの参加や、オンデマンド視聴することにより単位の取得が可能となったが、羽曳野支援学校として何か病弱の高校生に対してアプローチや取り組みをしていただきたい。

A 毎年府支 P から教育庁の方には高等部設置の依頼を挙げている。知的の支援学校が足りていない現状からなかなか厳しいとは思いますが、本校としてもご意見をいただきながら教育庁に要望していきたい。センター的機能としてオンラインを活用しながらサポートしていければと考える。

Q この数年（コロナ禍を経て）で教育の中身がぐっと変わってきている。羽曳野支援学校も授業のやり方については日々アップデートされていると思うが、地域の学校の通常の学級でどのように教育がされているかを見学し参考にされることをお勧めしたい。

A 地域の学校での授業のエッセンスを取り入れて授業を行う必要がある。近隣の学校への見学等もお願いしながら進めていきたい。

#### 感想

- ・ 安全で安心な学校生活をおくることのできる学校づくりということについて、まずは子どもたちの人権を尊重することが大切と思う。

様々な家庭環境がある中で保護者とどのように協力していくかということが難しい課題

である。また、子どもたちの将来のためにどう向き合っていくか、短い在籍の中でどう取り組んでいくかについても難しい課題である。

- ・ 学校は勉強だけでなく人間関係や社会性を学ぶところ。羽曳野支援学校の少人数での授業体制等が組める等の自由度の高さを活用し、色々な取り組みについて考えてほしい。
- ・ 支援学校からの病気や障がいへの理解についての情報発信がとても大切。病弱の理解という強みを生かした発信をお願いしたい。

#### 次回の会議日程

日 程	令和5年11月～12月上旬
会 場	羽曳野支援学校本校 図書室